

JAPAN NOW

観光情報協会

Non-Profit Organization JAPAN NOW TOURISM INFORMATION ASSOCIATION

東京都知事が認証した「都市・環境・観光NPO」が発信する隔月刊情報紙

第36号 発行日2006年03月15日

Contents

JN協会5周年へ。福島・花見山公園	1
霞が関情報(門野課長)、観光庁は？	2
観光人国記(福島市長、紺野幸子女将)	3
立教支部(中国人留学生に聞く-2)	4
スキー③(竹内カンナ)、COLUMN	5
お得な情報(ロシア料理、札幌のガイド)	6
NPOの提言(世界遺産)あめりか通信	7
アメダス、会員情報、編集後記	8

巻頭言

全国的な都市・観光・環境NPOに JN協会発足5周年 その足跡と将来展望

JAPAN NOW観光情報協会(松尾道彦理事長)は、平成13年に石原・東京都知事からNPOとして認証されて今年4月で5周年を迎えるが、役員や個人、団体会員ら関係者のご支援により「都市再生・観光振興・環境保全」を活動目的とする全国的なNPOに成長し、しっかりと市民権を確保した。その足跡と今後の活動を展望してみた。

世界的な人や情報の交流時代を迎えて「観光」は各分野が関係する裾野の広い産業であり学際的で総合的な社会科学という魅力と面白さがある。発足当初には「観光に都市再生や環境保全はなじまない」という意見も聞かれたが、もし「街づくり」や「環境保全」を活動目的から除外していたら、ここまで成長しなかったと思う。その証しは地域社会の発展や環境保護を重視するJRや電力会社、ゼネコンなど大手企業がJN協会の団体会員として名を連ねていることである。

過去5年間の活動実績は、昨年11月の北海道支部(札幌市)発足の際に、発行した情報紙「JAPAN NOW」第33号(北海道特集)に詳しく掲載されている。当協会の支部は新宿(平成13年)、北陸(14年)、立教(15年)、九州(16年)、中部(16年)、神戸(17年)、北海道(17年)など7個所に開設され、今年4月には四国支部(高松市)が新設され、主要経済圏では東北、中国を残すだけとなった。

講演会、シンポジウム、フォーラムは各支部の協



福島市東南部にある「花見山」から、雪に覆われた吾妻連峰を望む。左端に見える吾妻小富士は、残雪がユキウサギに見えて、有名。この花見山は、花卉農家の私有地だが、好意で開放されており、見物客が絶えない。2月はじめのロウバイから、5月のハナモモまで、ピンク、赤、白、黄色の花が次々と咲く。

花をめでたあと、磐梯吾妻スカイラインの「雪の回廊」を抜けていくコースは地元お奨めのスポット。「雪の回廊」は、4月8日に再開通。

力のもとで17回行われ、超一流の講師が分かりやすく意見を述べ、地域振興に貢献した。また、山梨県都留市の山梨リニア実験センターで2回にわたり超高速で走るJRマグレブ・リニアモーターカーや九州新幹線の試乗会を実施し、能登空港、中部国際空港、神戸空港の見学会などを行った。リニア中央新幹線の実用化や東京駅周辺に観光総合案内センターの開設について政府や関係機関に提言した。イタリアの世界遺産都市・ティボリ市長を日本に招待し、分家・新湊市長(現射水市長)との国際交流会を開き、盛況だった。

今後の大きな活動目標としては、東京の本部と全国10支部(東北、中国を含む)を結んだ「JAPAN NOW都市・観光・環境情報網」(仮称)をつくり、国、地方自治体や企業と連携して新規事業を展開する。これは最近、都道府県を全国9、11、13個所に統合する道州制の3案がまとまり、小泉首相に答申されるなど、国から地方への権限委譲が本格化するからだ。豊富な人脈を持つJN協会は今後も「一念、石をも通す」で前進したい。各位のご協力をお願いする。(事務局長 白澤照雄)

東京 電が関発の最新情報 国土交通省・総務省・財務省

観光ルネサンス事業で民間の活力を！

国土交通省総合政策局・観光企画課長
門野秀行(かどのひでゆき)氏に聞く
(阿部事務所代表 阿部 和義)



大阪府出身。東京大学法学部卒。1980年運輸省に入省。航空事業課長、鉄道局JR担当を経て05年8月に観光企画課長。05年8月に武藤浩・課長からバトンを受けた。

観光行政の要(かなめ)である企画課長になりましたが、いままで観光関係の仕事は何かやりましたか？

今まで観光の仕事はやった事はありません。初めてです。私は略歴を見てもらえば分かるように、運輸省の中でいろいろなことをしてきました。航空から鉄道まで幅広くやらされました。よく言えばオールラウンドプレイヤーですかね。

観光部の総務課長の役割を果たすわけですが、抱負はありますか？

外にいても小泉内閣が観光に力を入れていることは分かりました。ビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)のことは聞いていましたので、外国人の観光客を増やす事が役目の一つだと思ってます。それに今度の予算で観光経済課、観光資源課が認められ6課になります。行革の中で減らされている課が多いのに増えているのは観光部ぐらいです。組織体が充実してきたので成果を上げないといけないと思います。

06年度予算の目玉は何でしょうか？

VJCの推進と観光ルネサンス事業の拡充でしょう。VJCでは前年度の35.2億円が36.6億円に1.4億円増えました。緊縮財政の中で増えたのは嬉しいことです。中国と韓国との連携を密にしていきたいと思ってます。特に中国は2010年に1000万人を達成するポイントだと思っています。中国から1年間に2800万人の人が海外に出るのに、日本には60万人しか来てません。この人たちをいかに日本に来させるかが勝負でしょう。06年は日中観光交流年にあたり05年12月に中国国家旅遊局と打合せをしました。日本からは大西珠枝・官房審議官(観光担当)が行きました。

観光ルネサンス事業について説明して下さい。この事業はVJCの受け皿として国際競争力のある観光地作りや自治体の行う「街づくり交付金」とも連

携しています。観光カリスマを選任して観光振興を図ります。05年度の2.7億円が06年度は3.5億円に増え、民間が行う観光事業への補助もします。

最後ですが、2010年1000万人の目標は達成しますか？

去年は愛知万博があり、中国からの団体客をビザ無しにしたり、韓国、香港もビザ無しにして増えました。この勢いが続けばよいのですが。関係者が更に努力しなくては目標達成は大変でしょう。特に、国際観光振興機構には頑張ってもらいたいと思っています。ここは外国人誘致で実績がありますからね。

2010年に平城遷都1300年事業

1300年前、奈良県に遷都された「平城京」を記念して2010年1月から12月まで「奈良1300年祭」を繰り広げる。

愛知万博の総合プロデューサーであった木村尚三郎・東大名誉教授が企画を立てる。記念事業としては「国際コンベンション事業」、「平城京跡事業」、「平城京・広域ネットワーク事業」、「文化創造・市民参加事業」の4つの事業を推進する。

この事業に1500万人の参加を見込んでいる。平城京跡事業は10年の春から秋の半年で500万人の参加を見込む。この記念協会の理事長には秋山・関経連会長が就任している。

自民党が観光基本法の改正へ 観光庁設置も視野に

自民党は外国人旅行者を増やすために観光庁の新設を検討する。そのために国土交通省、外務省、文部科学省などが扱っている観光予算を観光庁に集約する。それとあわせて、43年ぶりに観光基本法の改正に取り組む。自民党の観光特別委員会(愛知和男委員長)で検討している。

観光関係の予算は国土交通省でビジット・ジャパン・キャンペーン(VJC)で約37億円、観光ルネサンス事業約4億円、外務省の観光誘致広報約5億円、文部科学省の日本文化広報1億円などがある。こうした予算を観光庁で一元的に管理すれば効果的な事業が出来る、という。

愛知委員長は「観光基本法は議員立法で作られたので、今回も議員立法で行う。まだ、勉強を始めたばかりでどのような形になるか分からない。いろいろな人の意見を聞いていきたいと思っている」と話している。

JN協会の四国支部設立総会が、4月14日高松市の「ウエルシティ高松」で開かれます。支部長には梅原・JR四国会長が就く予定。ご参加を期待します。

観・光・人・国・記

「観光県都」を標榜

市制施行100周年機に飛躍目指す

瀬戸孝則・福島市長

1970年、早大法卒。福島市で不動産賃貸業を営み、1987年福島県議当選。2001年、福島市長初当選。2005年暮2期目に、趣味はジャズ。弊紙2005年3月号で紹介した神戸市のジャズ喫茶「ソネ」も県議時代「行ったことがある」にはビックリ。



「観光県都」という聞きなれないフレーズが、瀬戸市長の口から飛び出した。多くの県庁所在地の市長にインタビューしたが、初めての言葉であった。

昨年12月、2期目の当選を果たした瀬戸市長の課題は、子育て支援制度の充実、安全安心のまちづくり、生涯学習そして「交流と連携」の推進である。国全体の人口が減っていく中で、街の活性化を図るには交流人口を増やしていく以外には妙案はない。どこの市長も目指していることなのである。

瀬戸市長が、ちょっと違うのは、その具体策。来年が市制施行100周年。そのメイン行事として、福島市生まれで名誉市民だった古関裕而の『記念音楽祭』を開くこと。といっても例年と違い、開く場所が神奈川県川崎市で、である。「福島への誘客に繋がらないと市民から批判が」と聞くと、どうやら瀬戸市長の遠謀深慮。「川崎の市長は福島市出身で高校の先輩という関係もありますが、それよりも京浜地区には福島から行っている人が多い。そんな方たちが定年退職期に入り、故郷を懐かしみ、あわよくば帰郷して下さるきっかけにもなれば」と言う。迂回作戦だが、面白い発想ではある。

福島市は新幹線で首都圏から1時間40分前後である。開通前までは、宿泊客で賑わった『飯坂温泉』も、いまは素通りされかねない状況。むしろ鄙びた高湯温泉や土湯温泉に、人気をさらわれた感すらある。そこで瀬戸市長は、そんな飯坂温泉の復活を目指して「飯坂町地域再生計画」の国指定をかちとった。旧堀切邸の整備や火災で廃墟となったままの巨大旅館の取り壊しなどに着手し、観光客呼び込みに力を入れる。

「首都圏に近いことがマイナスにさえなった感がある福島ですが、県内の相馬、会津、喜多方などと広域観光ルートを整備し、さらには隣県との連携を考えていきたい。福島は、こうしたルートの基点でもあり、東京に帰る前の日の宿泊地としても、いけるはず」と、市長はいう。ロウバイから始まってハナモモまで10種以上の花木が、2月から5月にかけて咲き続ける花見山公園。そして例年より約2週間早め4月8日再開通の磐梯吾妻スカイラインの残雪は

これからがピーク。

瀬戸市長は、2月はじめ、沖縄、台湾へトップセールスに出向いたが、市近郊に点在する温泉、そして次々と咲く花々と残雪に、好感触を得たという。「交流と連携」をキーワードに、瀬戸市長の2期目の挑戦はスタートしたばかりだ。（白澤、加納）

女将会引っ張り繁栄復活を！

飯坂温泉『福住旅館』の紺野幸子さん

福島駅から福島交通飯坂線で20分、福島市の奥座敷と言われた「飯坂温泉」がある。最盛期には130軒のホテル・旅館が軒を連ね、200人ももの芸者を擁し、わが世の春を謳歌したものだが、男性中心の団体客が大幅に減り、いまは60軒と半減、芸者も10人そこそことなった。6軒あったストリップ小屋も、いまはゼロという。

その中心部にある『福住旅館』の女将が、紺野幸子さん。女将の会である乙和会の会長を務めている。もともと飯坂温泉は男性の遊びの街として知られ、かつては遊廓もあったそうで、「男の街」だった。



「女将といっても、主人の陰に隠れ表には出ないのが普通。女将同士でも顔も知らないような時代もありました」という。

時は変わり、男性ばかりの団体客から、個客の時代に入った。いつの間にか、女将が接待側の主役になっていく。そんな流れをうけて10年前に乙和会ができ、東京や仙台へ出向いてのPR活動、飯坂太鼓祭りの盛り上げに大きな役割を演じるようになっていく。幸子女将は、そんな乙和会の2代目を引き受け4年になるそう。県や市の委員会などにも、よく呼ばれ、意見を求められる、とのことである。

親睦会としてスタートした乙和会だが、勉強会と称して京都で舞妓遊びをしたこともある。日本一の接客ぶりを学ぶため、とのこと。総勢43名の会は、毎年のように“勉強”に出掛けているそう。

飯坂温泉の泉質はアルカリ性単純温泉だが、元湯が違ふと微妙な差があるとのこと。「福住さんは」と聞くと、「私は朝夕2度浸かります。芯から温まり、肌はすべすべになります」と微笑む幸子女将。なるほど美形である。趣味は日舞、橘流の名取りの由。なるほど。

で、お奨め料理は？と聞くと、「うちの売り物は“カニ三昧”です。北海道から直送のタラバ、ズワイと毛蟹の一緒盛りで2100円。これを目当てに、来てくださいます」。宿泊費は1万2000円～1万3000円だそうで、家内を連れて行ってみよう、と思った。個人客を目標に、各ホテル・旅館の知恵比べが、飯坂復活に繋がっていくのだろう。（白澤、加納）



もっと話し合おう！アジアの人々と 留学生インタビュー の2

JN協会立教支部長 田久保 万里夫

新年号の厳守誠さん（上海出身）に続いての中国人留学生インタビュー。2005年12月28日実施。

権 飛雪さん

（中国・ハルビン出身、立教大学観光学部4年）

Q.まず日中関係についてお聞きします。権さんが生まれ育ったハルビンは満州事変などがあった地域ですが、権さんは日本に対して嫌な感情を持っていますか。

A.私の親戚には日本に行っていた人が多くいて、昔から日本のことをよく聞いていたので、悪いイメージはないよ。私の家族も同じです。でもずっと中国に住んでいて外国に出ないと、学校の教育やテレビから流れてくる映像によって悪いイメージを持つようになると思う。

Q.それではどのような教育を受けたのですか。

A.中学2年生の頃に1年間かけて革命史というものを学びました。これは中国が欧米列強や日本に侵略されていた歴史を事細かに教えられます。試験に出るから、一生懸命に勉強したよ。（日本の教科書の南京大虐殺の記述を見て）日本は被害者20万人と主張しているけど、私は36万人と習いました。でもこういうことは歴史だからどちらが正しいかわかりません。

Q.上海で起こった反日デモについては？あれは中国政府が先導したものだという人もいますが。

A.私はそうだと思います。日本に来てから、そういうこともあり得ると疑いの考えを持つことができるようになった。ずっと中国に住んでいる人は考えを変えられないから、ああいうことが起こると思う。けれど、今中国の人が怒っているのは、日本人ではなく日本政府の行動だと思うよ。小泉首相は靖国参拝をしなければいいのに。あの人は自分の身を守るために、選挙に勝つためにしているでしょ。A級戦犯（を合祀している靖国に参拝すること）じゃなくて、そういう行動に怒っているのだと思う。

**Q.それでは次に日本のことについて聞いていきたいと
思います。日本に来る前と後とで印象の変化はありますか。**

A.日本は豊かな国なのでのんびりしているイメージがあったけど、実際はものすごく忙しい国だった。中国ではだいたい15時になったら仕事やめてみんな帰るし、サービス残業はあり得ないよ。



北海道の旅途中の筆者

Q.日本人のことをどう思いますか。

A.日本人は優しいと思う。外国人で嫌な人がいた時には、日本人は距離を置くだけだけど、中国人は意地悪をします（笑）あと、日本人は人に合わせる。中国人は人に合わせるのが嫌な人が多いですね。

Q.日本に留学しても日本をあまり好きになれずに、卒業したら祖国に帰ってしまう留学生が多いようですが、周りにそういう人はいますか。

A.私の周りにはそんなにいないよ。ただ、日本に来たばかりの留学生はなかなかバイトに雇ってもらえないとか、アパートに入れないなどの苦労をしている。私も1回だけ外国人だからという理由でアパートの入居を断られてショックを受けたことがあるよ。

Q.立教のキャンパスの現状として、日本人学生は日本人で固まり、留学生は留学生同士でグループを作ってその中だけで生活をしているという印象が強いですが、そのことについてはどう思いますか。改善するために何かいい方法はありますか。

A.キャンパス内で壁ができるのは寂しいと感じる。せっかく異文化交流ができるのにすごく残念なことだと思う。解消するのは難しいと思うけど、大学に入ってまだ学生間で集団が固まっていない時期に、日本人学生と留学生が交流できる場があったらどうか？

Q.日本人に何か言いたいことはありますか。

A.優しくしてくれてありがとう！最近、日中関係がギスギスしていて、中国に対していいイメージを持っていない日本人も、日本のメディアだけで判断しないで中国人の考えも聞いてみてください。

Q.最後にインタビューの感想をお願いします。

A.私は日中問題とかは政治の問題だからどうしてもないものだと思っていたから、こうやってインタビューをすることはとてもすごいことだと思う。日本にずっと住んでいる日本人にはわからない日本の嫌な部分もあるだろうから、日本に対して批判的な意見を持った人の意見を聞くと面白いかもしれないよ。

～インタビューを終えて～

今回インタビューをした権さんも、前回の厳さんと同様に、日本や日本人に対して友好的な感情を持っていました。そして再三言っていたのが、日本に来てみて実際に日本人と交流してみて初めて、中国の政府のいうことや、今まで自分が習ってきたことが本当なのだろうかという疑いの目を持つことができるようになったということです。

自分を含めて若者の一般的な考え方というのは、「歴史というのは昔のことで現在の自分達とは関係がなく、そのことでいがみ合うのはおかしい。大切なことはこれから自分たちが、いかに友好的な関係を作っていくかということ」だと言えると思います。現在の日中間の政治状況は過去を持ち出したいがみ合いそのものとも言えます。

そんな政治のギクシャクした関係に反映されたメディアからの情報だけでは真実を知ることはできず、悪いイメージばかりが膨らんでしまうのは当然です。これから友好的な関係を築くのに最も大切なことは、政府や政治の思惑とは無関係の草の根レベルの国際交流を積み重ねていくことではないでしょうか。

スポーツと観光

仲間が広がる楽しさも スキー(3)

スキーを始めたのは3歳のときらしい。もちろん覚えていない。両親が大好きだったため、わたしと妹は物心つく前から滑り始めていた。毎週のように家のそばのリフトもない小さなスキー場に家族で行くのだが、車もないので、小さいころは、スキー靴と一緒に特製の「箱ぞり」に毛布にくるまって押し込まれていた。

スキーをするのが当たり前の家庭に育ったため、漫然と続けていたが、それほど好きだったわけではない。しかし高校に入って、これまた親の勧めで、それほど熱意もなく入った競技スキー部で1年生のときにいきなり全県でトップクラスの成績を収めてしまい「カンナさんといえばスキーですが・・・」のようなことになってしまった。

大学でも競技を続けたが、卒業してからは何年もスキー場から足が遠のいた時期もあった。だが10年ほど前、夫が単身で米国留学してしまったところに、つれづれなるままにスキー好きな友達の仲間に入れてもらい、長野県の八方尾根などに行くようになった。この人たちが定宿としている民宿「わかた館」は、客か宿の人か分からない20年来の常連が



現在は山形県知事の斎藤弘氏と



スキー仲間と蔵王で

集い、初めての客でもすぐに仲間にしてしまい楽しい交流の場になっている。

5、6年前からは、年1回、蔵王ツアーを企画している人たちの仲間にも入れてもらった。政府税制調査会の石弘光会長を中心とした財務省の官僚やマスコミのグループだ。かなりのスピード狂の集まりで、競技経験者のわたしでも、ときどき怪我をするのではないかと心配になってしまうほどだ。昔はランチもろくろく食べずに滑りまくっていたという。

スキーというスポーツは時間もお金も掛かる。しかし気の合う仲間と行けば移動の時間や宿での時間も逆にいろいろ積もる話はずんで楽しい時間になる。スキー仲間が、夏の間のハイキング仲間になり、グルメ仲間になり、いろいろな派生していく。さて、そろそろ今年も北海道に行く計画を立てなくちゃ。

(JN会員 竹内 カンナ)

C O L U M N

《窓》

通常どんな部屋にも「窓」がある。窓がなければ光が入らず、暗くなる。だから窓のない部屋は特別な部屋と思って、まず間違いない。窓を通して明かりを取り入れたり、窓を開けて換気させたり、窓を媒介にして家の内外の空気が還流し世間とのコミュニケーションも図れるのである。「ロミオとジュリエット」に唄われるとおりである。

「窓」は家の中に住む人々の生活の鑑であり、文化でもある。その形状も千差万別である。従って環境、民族、風習、宗教等によって「窓」にもその独特の差や違いが表れる。自然環境の異質性は、南方地方の人々の家の窓と、北方の人々のそれを見ればはつきり分る。前者には寒さへの対策などまるでなく、後者には暑さへの備えはほとんどない。同じ気候帯に住む人々の間でも、民族や宗教、風習が異なれば自ずと窓の造作は異なる。それは大きかったり、小さなものであったりするし、材質にもその差が表れる。

オランダの家屋では道路に面した窓に、大きな一枚ガラスをはめ込んだ家がかかなり見られる。家族が食事をしている光景を通りから目にすることもしばしばである。通行人が手を振ると家族が応える微笑ましいシーンも見られる。合理的なドイツには窓ガラスを上下にも、左右にも開閉できるような窓の構造が細工されていて、効率的で利便性もある。それが、極寒のシベリア地方に行くと丸太小屋風の家小さな窓をびたっと閉め、明かりを外へ漏らすまいとカーテンで目隠して、室内は外から覗けないほどだ。同時に、室内の温かい空気を外へ逃がすまいと必死に知恵を絞る。室外へ出てくるのは、屋根の上の煙突から湯気のような白い煙だけである。まるで戦時下の灯火管制のようだ。それぞれに定着した経緯とか、生活の知恵があるのだろうが、その前提には誰に見られても恥ずかしくない、家財道具や調度品があることは間違いあるまい。

(近藤)

お得な情報

「日本で見つけた 世界おいしい物語」

ロシア料理 スンガリー

子供の頃、渋谷のロゴスキーというロシア料理屋で買ったピロシキとボルシチの缶詰を家で温めて食べた覚えがある。

ロシア料理といえばロゴスキーか神谷町のヴォルガが有名で、味は良いが、レストラン自体が古式豊かで、かび臭い印象をもったものだ。新宿にあるスンガリーは、東新宿の店は夜のメニューのみ、西新宿の店は、ランチもある。ただし、客席30そこそこで、11時30分の開店時には、列ができています。店の雰囲気はやはり民族調。

ここのお勧めは、昔ながらのロールキャベツのトマトクリーム仕立て、ゴルブツツイで1600円。ローストした鹿肉の蕎麦粉クレープ添えに赤スグリのトマトソース仕立てのペンションネンオレム1800円である。西新宿の店のランチでは、ボルシチやロールキャベツの組み合わせで、1000円から1300円まで。

とくに、ボルシチとつば焼きセットは食べごたえがある。ロシア料理はクリーミーなので、少量でもボリューム満点。ロシアンティーは、バラやきいちごのジャムを添えていただく。ロシア産ビール、バルテイカ3やウオッカ、グルジア産の白ワインも楽しい。

営業時間 ランチ11:30 - 14:00 デイナー
16:30 - 22:30 日曜定休。

住所は新宿区西新宿1-7-2 スバルビルB1
TEL 03-3343-5047 (大島 慎子)

日本唯一のホテル客室常備文化情報誌

JAPAN NOW

1985年に創刊され、ホテルオークラ、帝国ホテルなど全国のシティーホテル110館約50,000室の客室に常備されている日米対訳の文化情報誌です。

2005年度版は編集・デザインを大幅に刷新。表紙は気鋭の合羽刷(版画)師、西岡文彦氏による作品としました。英文も基本的に全文対訳とし、学校教材としてもより利用しやすくなっています。

特集では、世界遺産に登録された「熊野三山」に焦点を当て、歴史・風土・文化、そしての現在在の姿を、豊富な写真を中心に紹介しています。

さらに、木村尚三郎氏による巻頭メッセージ、金子務、鎌田東両氏による特集エッセイは、これまで以上に読みごたえのある記事となっています。

1部2,000円(送料別)で購入できます。

お問い合わせは(株)ジャパン・ナウへ。

電話03-3465-5826 FAX03-3465-5254



札幌シティガイドのこと

鹿児島では、これから試験

さっぽろ雪祭り直前に準備風景を見学しに行った。もしかして雪像のライトアップのリハーサルなどが見られるかもしれないと期待を抱き大通り公園へ。しかし、雪像作りは大物は最後の仕上げで、通行禁止。思惑はずれであった。



というのは、開催当日からは旅行代は倍に跳ね上がり、会場はラッシュアワー状態になるらしい。その前にとった次第である。しかし折角行ったのだから、趣旨をグルメの旅に変更する事にした。地元の知り合いに案内してもらい、美味しくて安いという居酒屋に。きんきの煮付けは見た事もないほど大きく、食べる話になると西丁目の一番だとか、北海道の人の食へのこだわりには凄いものがある。翌日、お土産を求めて場外市場に向かう際にタクシートの運転手さんが、札幌シティガイドの資格を持っていると、名刺を差し出した。

これは、商工会議所が行っている札幌シティーガイドの検定に合格すると合格証と携帯用認定カードがもらえ、ボランティアガイドとして登録もできるというものらしい。観光に従事する人、主婦や学生も受験し、札幌の歴史や文化、自然環境や観光名所などを総合的に学ぶことにより、札幌の魅力を案内できる人材が育成できるという検定である。観光客は、地元のことを安心して聞けるイメージがあるので良い制度だと思う。茨城、東京、伊賀、京都、岡山、姫路、長崎など各地で観光検定を実施しているが、いま、間に合う検定は、4月16日に実施される「かごしまマスター試験」がある。九州新幹線の全線開業を5年後に控え、県内外を問わず、多くの人に鹿児島への関心を持ってもらうため実施する。

問い合わせ: 099-225-9511(鹿児島商工会議所)
理事 堤 り

[会員募集]

都市の再生、観光振興、環境保全の市民活動に賛同する会員を募集しています。

個人会員(1口5千円)、団体会員(1口5万円)

東京都渋谷区代々木1-58-13小田急代々木ビル3階

JAPANNOW観光情報協会(電話03-5304-9500)

へご連絡ください。

会員の投稿を歓迎します

情報紙の充実を目指して!!

観光情報紙2006年4月号への個人、団体会員の投稿を歓迎します(400~500文字程度)。皆様のご意見を、どしどしお寄せ下さい。詳細は事務局まで。

発行は2006年4月20日。締め切りは4月14日。

ジャパンナウ観光情報協会への期待 その25 世界遺産に対する後進性

JN協会理事 寺前秀一

観光資源の範疇化制度は、一般的には、より広域にわたるものが権威をもつ。市町村長が選定する観光資源より都道府県知事が選定する観光資源が権威を持つことが多く、最終的には国際的に範疇化されるものが、より高い権威をもつことが一般的。

日本は1992年に「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」を締結し、「法隆寺地域の仏教建造物」「姫路城」「白神山地」「屋久島」に加えて「紀伊山地の霊場と参詣道」が2004年に新たに同条約に基づき登録され、和歌山県を中心に観光資源として売り出されている。

同条約はその前文で「これらの遺産の国内的保護に多額の資金を必要とするため並びに保護の対象となる物件の存在する国の有する経済的、学術的及び技術的な能力が十分でないため、国内的保護が不完全なものになりがちであることを考慮し」とあるように、世界遺産を人類全体で保存しようとするものであり、日本のように単独で保存する能力のある国は、同条約に基づいた登録制度を活用する必要性は相対的には低いはずである。この世界遺産リストに登録されるものは文化遺産、自然遺産、複合遺産の3種類に分類され、更には世界遺産条約の適用外になっている無形の文化遺産に関する国際的な規範を確立し、その継承と発展を図ることを奨励するため1998年のユネスコ執行委員会において、「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」規約が採択されたところである。

これらの世界遺産はわが国では文化財保護法の規

定する文化財と自然公園法に規定する自然公園にほぼ対応する形で範疇化されており、日本国内法でも対応できるわけであるが、国内各地で世界遺産登録運動が盛んに行われているのは、観光資源としてのより高い権威が得られるからであり、その意味では外国(特に欧米)からの評価をもとに観光資源の範疇化を図らなければ、国内利害関係者の説得が難しい点では後進性から脱却していないといえる。

あんな話 こんな話

日本一の美庭と 銅剣と

● 昨秋、大学時代の同級生ら10人と松江市を訪れた。● 玉造温泉の『皆美』に泊まり、松葉カニを賞味し大満● 足だったが、それにも増して印象に残ったのが、安来● 市にある『足立美術館』と斐川町にオープンした『荒● 神谷博物館』。



『足立美術館』は、横山大観の絵が揃っていることで有名だが、庭(=写真)が素晴らしい。アメリカの専門誌が3年連続で庭園日本一に選

● んだ。春夏秋冬いずれの季節も美しい、という。

● 次に訪れた斐川町の『荒神谷博物館』は、● 2005年10月にオープンしたばかり。日本全体● の出土数より多い1358本もの銅が見つかった● 荒神谷遺跡のすぐそばにある。

● 祭事用なのか、実戦にも使われたのか、なぜ● 固まって大量に埋めたのか、諸説フンブン。● 発掘現場に立って、古代の人たちの営みに● 想いを馳せると、時の経つのを忘れる。

● 出雲大社といい、松江市近辺は古代史ファ● ンには堪えられない地方だ。(加納)



銅剣

あめりか観光通信 その4 -ニューオーリンズ-

祭りきっかけに災害から復活 ニューオーリンズ

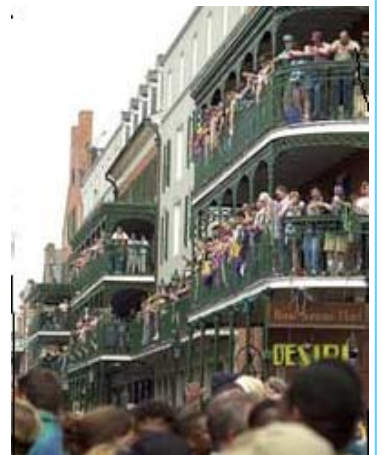
ニュースでも報道されているように、昨年9月ハリケーン・カトリーナによって大きな被害を受けたルイジアナ州のニューオーリンズが復活を遂げつつあります。そのきっかけとなったのは、「マルディグラ」と呼ばれるお祭りです。いわばカーニバルと同様の意味を持つお祭りですが、現在では宗教的な意味合いが薄れ、フロート(山車)が街をパレードし、賑やかに音楽が演奏されるイベントとなりました。

150周年の記念の年となった2006年のイベントは2月18日から28日まで行われ、各週末にはパレードが行われました。フロートの数は例年に比べて少なかったものの、フロートの上から金、緑、紫のビー

ズで作ったネックレスが投げられ、人々は先を競って、そのネックレスを集めます。コインをつかむと幸福になるといわれ、そのコインになぞらえたビーズの色には、それぞれ運命(金)、忠誠(緑)、正義(紫)の意味があるといわれます。

4月にはフレンチ・クォーター・フェスティバルやニューオーリンズ・ジャズ・フェスティバルも開催されます。フランス植民地時代の影響を色濃く残し、独特の文化を育んできたニューオーリンズは是非一度訪れて欲しい都市のひとつです。

(JN会員 井上嘉世子)



アメダス (地域気象観測システム)

アメダス (AMeDAS: Automated Meteorological Data Acquisition System) は、「地域気象観測システム」といい、気象状況を時間的・地域的に細かく監視することを目的に、降水量、風向・風速、気温、日照時間の観測を自動的に行うシステムで、気象庁により運営されています。降水量の観測所が全国に約1300カ所 (約17キロ四方に1カ所)、このうち約850カ所 (約21キロ四方に1カ所) では風向・風速、気温、日照時間も観測しています。また、積雪地では、約210カ所で積雪の深さも観測しています。

降水量は0.5mm相当の雨がまずに貯まると倒れてカウントする方式 (しし脅しをイメージして下さい) で観測されています。風が強かったり、上部に立ち木などがあるとうまく雨量計に捕捉されないことがあり、周囲に障害物のない、比較的地面に近い位置で観測します。日照時間は0.1時間 (6分) 毎に規定値以上の日射があった回

気象とお天気の話

数を0.1時間×回数 (単位: 時間) で観測します。もちろん、日当たりのよい比較的高い位置で観測します。気温は電気式温度計で電気抵抗値の変化を0.1 単位で気温に換算しています。風はご存知のとおり、風車型のセンサーで向きと風速を観測します。積雪は一定の高さから超音波を雪面にあて、感部に戻るまでの時間を計測し、感部から積雪面までの距離を求めることによって「積雪の深さ」を観測します。写真は、埼玉県さいたま市の観測所で、降水量、気温、風向・風速、日照時間を観測しています。

(財) 日本気象協会
千葉善明



会員名簿

(敬称略) (個人会員名簿は公表していません)

- 名誉顧問 : 松山善三 (映画監督)
 理事長 : 松尾道彦 (日本海事財団会長、前日本鉄道建設公団総裁)
 顧問 : 丹羽晟 (前理事長、日本空港ビルディング相談役)
 副理事長 : 白澤照雄 (JN協会事務局長)、岡村進 (小田急電鉄顧問)、橋元雅司 (元国鉄副総裁)、橋爪孝之 (株) JALUX 相談役、大島慎子 (筑波学院大学教授)、小竹直隆 (元 JTB 専務)、須田寛 (東海旅客鉄道相談役)
 支部長 : 片山文彦 (新宿支部)、水野卓哉 (北陸支部)、田久保万里夫 (立教支部)、長尾亜夫 (九州支部)、須田寛 (中部支部)、岩田弘三 (神戸支部)、坂本真一 (北海道支部)

【団体会員】 (2006年03月15日現在)

(株)朝日ネット、(株)アドバン、荒井建設(株)、アンデス電気(株)、安藤建設(株)、池田煖房工業(株)、(株)伊勢丹、岩田建設(株)、(株)エスシー・マシーナリ、(株)HKIAアクセス、(株)大林組、隠岐の島町 (島根県)、(株)奥村組、小田急建設(株)、小田急電鉄(株)、(株)小田急トラベル、鹿島建設(株)、鹿島道路(株)東京支店、大阪国際空港ターミナル(株)、関西電力(株)、九城企業(株)、(株)九電工東京支店、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)熊谷組、(株)グリーンキャブ、群馬県、京浜急行電鉄(株)、(株)耕人舎、国光施設工業(株)、佐川サポートサービス(株)、三協アルミニウム工業(株)、(株)三普旅行社、四国旅客鉄道 (J R 四国) (株)、清水建設(株)、(株)ジャルセールス、(株) JAL-DFS、(株) JALUX、(株) JTB、(株)ジェイアール貨物・リサーチセンター、消音技研(株)、新菱冷熱工業(株)、常盤興産ピーシー(株)、住友電設(株)、(有)西洋館センター、静和堂竹内印刷(株)、(株)銭高組、全日本空輸(株)、総合パーキング建設(株)、セントラルリーシングシステム(株)、第一交通産業(株)、第一資材(株)、(株)大気社、大興物産(株)東京支店、大成建設(株)、大成サービス(株)、大成設備(株)、大成ユーレック(株)、大鉄工業(株)北陸支店、大日産業(株)、(株)高尚、高砂熱学工業(株)、(株)竹中工務店、(株)丹青社、中部電力(株)、ティーシートレーディング(株)東京支店、電研工業(株)、東海旅客鉄道(株)、東急建設(株)、東京急行電鉄(株)、東京国立博物館、(財) 東京観光財団、東京電力(株)、東光電気工事(株)、東芝エレベータ(株)、東北電力(株)、トーヨーカネツソリューションズ(株)、戸田建設(株)、名古屋鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)西原衛生工業所、西松建設(株)、日墨ホテル投資(株)、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)日本海コンサルタント、日本空港ビルディング(株)、(株)日本航空インターナショナル、(財) 日本交通文化協会、(社) 日本添乗サービス協会、(株) 日本プラント建設、ネスレジャパングループ、箱根町 (神奈川県)、箱根建設(株)、東日本旅客鉄道(株)、(株)常陸ビルシステム、(株)日立製作所、(株)ビッグウイング、福岡空港ビルディング(株)、富士機材(株)、藤長電気(株)、富士通(株)、プラネットワークス(株)、(株)フィールドサービス、北海道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)、北陸電力(株)、北海道空港(株)、(株)ホテル小田急、(株)ホテルメトロポリタン、前田建設工業(株)、(株)ホテルマリックス、マイナミホールディングス(株)、三井住友建設(株)東京建築支店、三菱電機(株)、(株)ミルックス、(学) 森谷学園、(株)山武ビルシステムカンパニー、有楽土地(株)、(株)USEN、横浜貨物総合(株)、横浜ビル建材(株)、(株)ランゲージネット、菱重輸送機エンジニアリング(株)、りんかい日産建設(株)

特定非営利活動法人 (NPO)

人と都市・観光の地球時代を、市民が支えます!

JAPAN NOW

〒151-0053 東京都渋谷区代々

木1-58-13

小田急代々木ビル3F

電話 03(5304)95

発行人: 白澤照雄 (JN協会事務局長)

編集長: 加納 隆 (JN協会理事)

発行部数: 3000部 主な配布先: 会員、中央官庁、地方自治体、民間企業、マスコミなど

編集後記

新年号の発行が終わったと思ったら、もう3月号です。4月は四国支部設立記念特集、続いて4月号、そして5月19日の協会定時総会に向けての臨時号と、その模様を収録した5月号、目まぐるしい取材・編集作業が続きます。老骨にむち打って、頑張らなくっちゃ。

JN情報紙発行で、けっこう厳しく忙しいのが「観光人国記」の人選と取材。実は、その有力候補として近々、伊勢市長に会うべく準備を進めていました。その矢先、突然の訃報に唖然とし、困惑している状況です。亡くなられた理由はともあれ、心からご冥福をお祈りしたいと思います。

(加納)